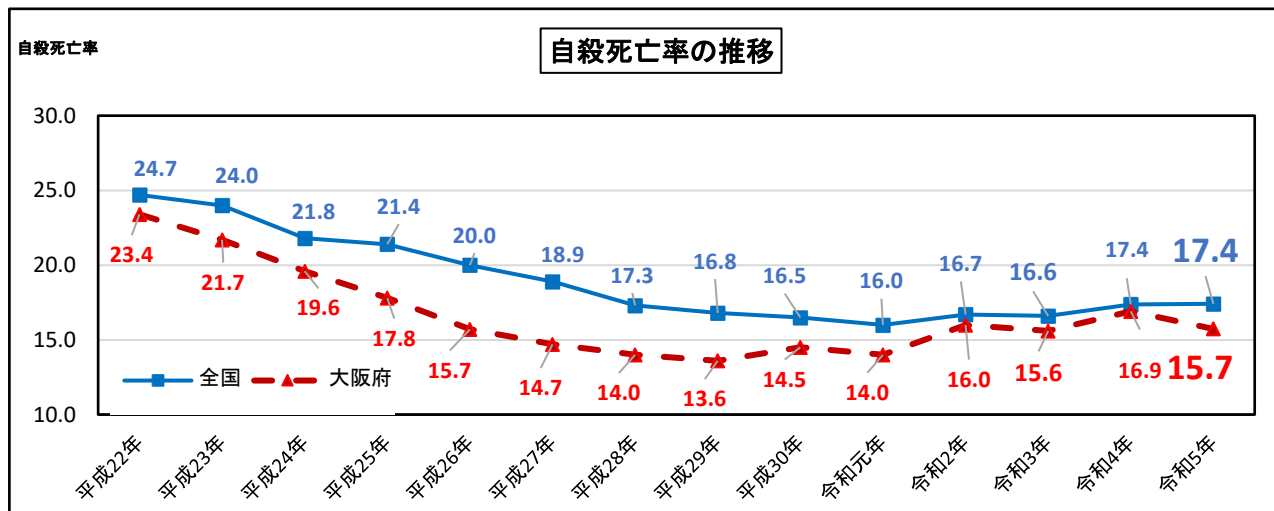
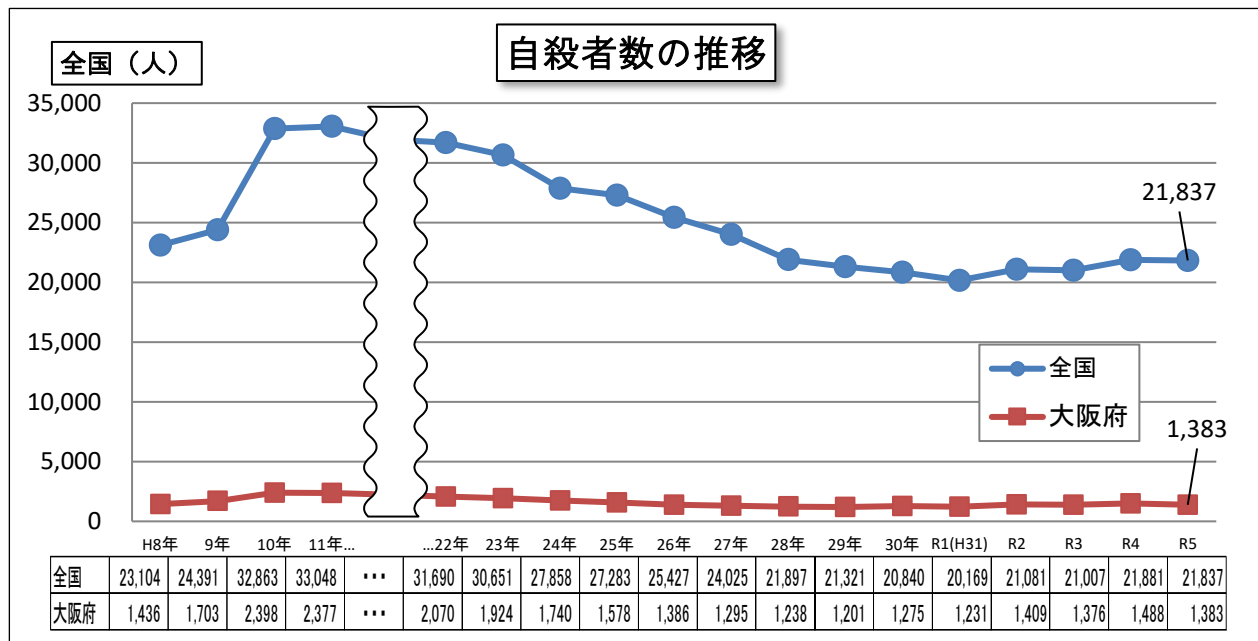


大阪府の自殺の概要＜令和5年＞



出典：厚生労働省自殺対策推進室作成地域における自殺の基礎資料 発見日・発見地
※警察庁の自殺統計

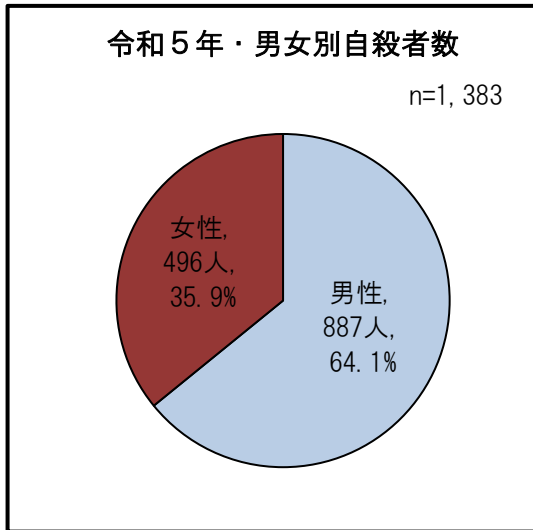
全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり、2千人を下回りました。

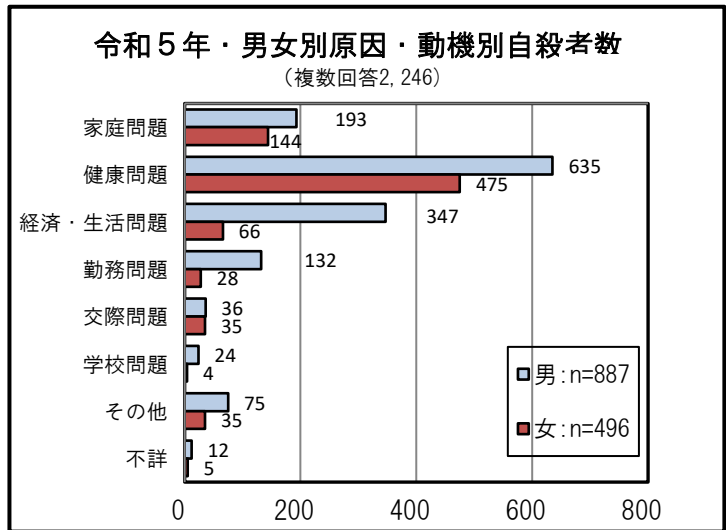
令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大といった要素があり、全国の自殺者数は11年ぶりに増加しました。同様に大阪府でも平成30年以降横ばい状態であった自殺者数が、令和2年に増加に転じました。令和3年は前年より減少しましたが令和4年は再び増加に転じ令和2年より多い状況でした。

令和5年は前年より105人減少して1,383人となり、1日に約4人の方が亡くなられている状況です。

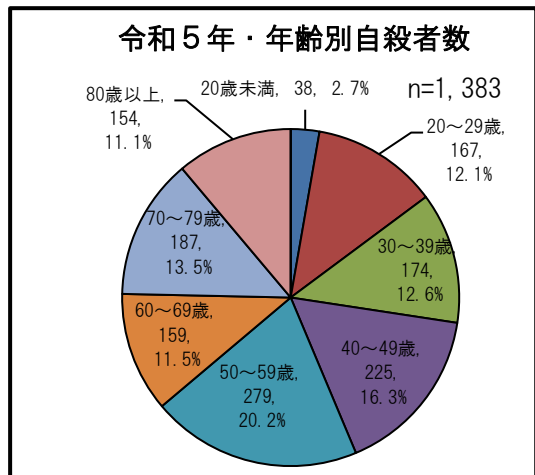
自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、15.7となっています。



男女別自殺者数は、男性が887人（64.1%）、女性が496人（35.9%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。

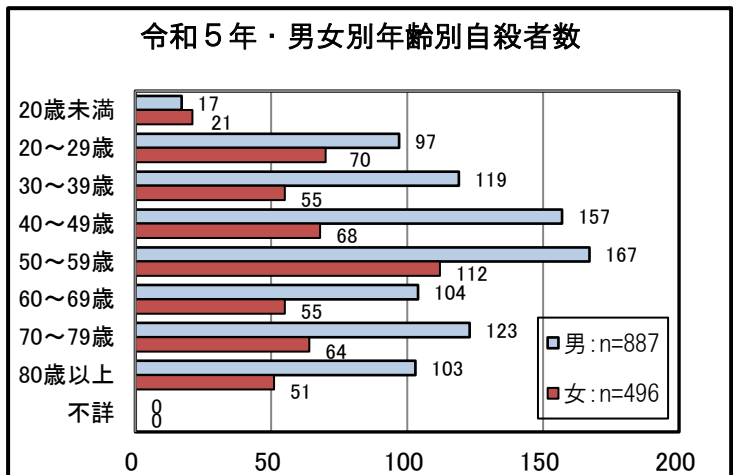


令和4年からは、家族の証言等から原因・動機を4項目まで計上することが可能になりました。男性、女性ともに、「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」が上位を占めています。



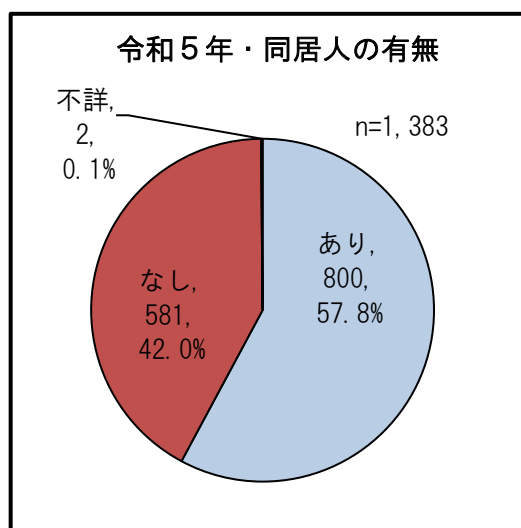
年齢別自殺者数は、「50～59歳」が279人（20.2%）と最も多く、次いで「40～49歳」が225人（16.3%）、「70～79歳」が187（13.5%）と続いています。

また、39歳以下の若年層の自殺者数は379人（27.4%）で、全体の約4分の1を占めています。

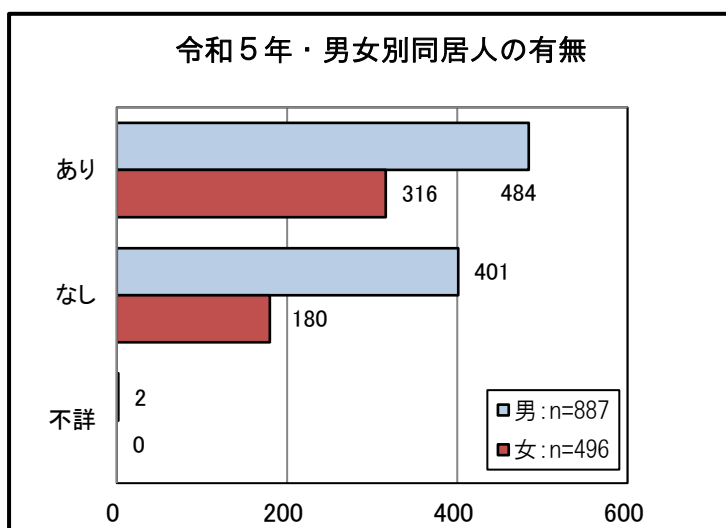


男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「50～59歳」167人（18.8%）が最も多く、「40～49歳」157人（17.7%）が続いています。

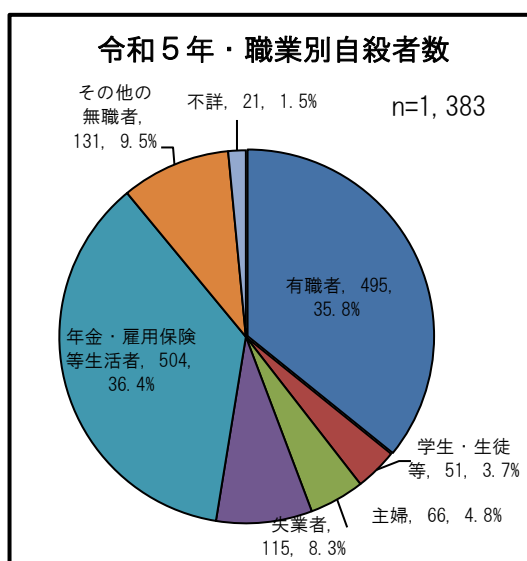
女性は「50～59歳」112人（22.6%）が最も多く、次いで「20～29歳」70人（14.1%）となっています。



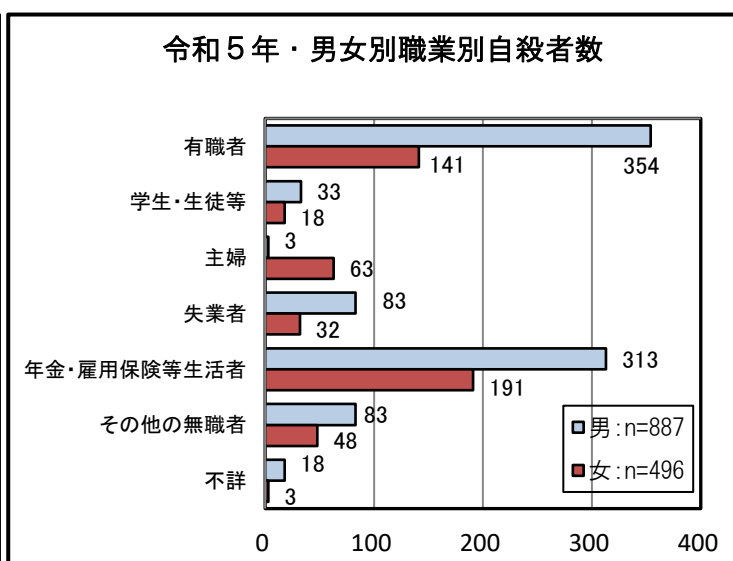
同居人の有無では、「同居人あり」が800人（57.8%）、「同居人なし」が581人（42.0%）となっており、「同居人あり」の方が約6割と多くなっています。



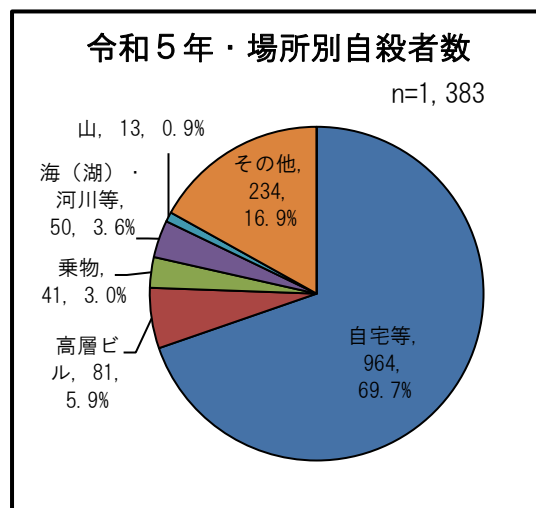
男女別の同居人の有無では、男性484人（54.6%）女性316人（63.7%）が「同居人あり」で、男性401人（45.2%）、女性180人（36.3%）が「同居人なし」でした。
女性の方が「同居人あり」の割合が多くなっています。



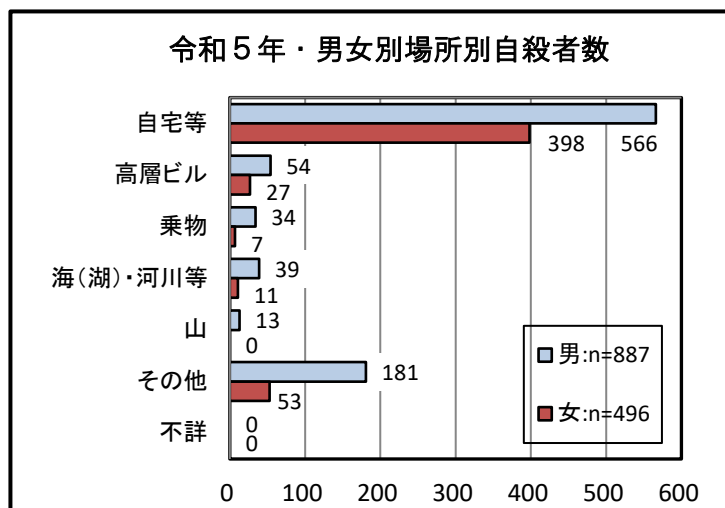
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が504人（36.4%）と最も多く、次いで「有職者」が495人（35.8%）となっています。
「学生・生徒等」は、51人（3.7%）です。



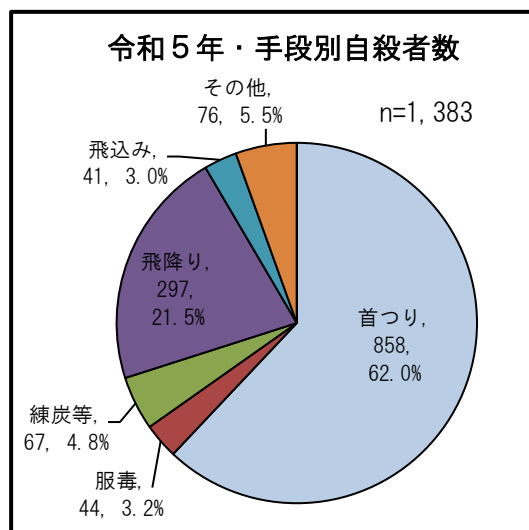
男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「有職者」が354人（39.9%）で最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が313人（35.3%）となっています。
女性は、「年金・雇用保険等生活者」が191人（38.5%）で最も多く、「有職者」が141人（28.4%）で続いています。



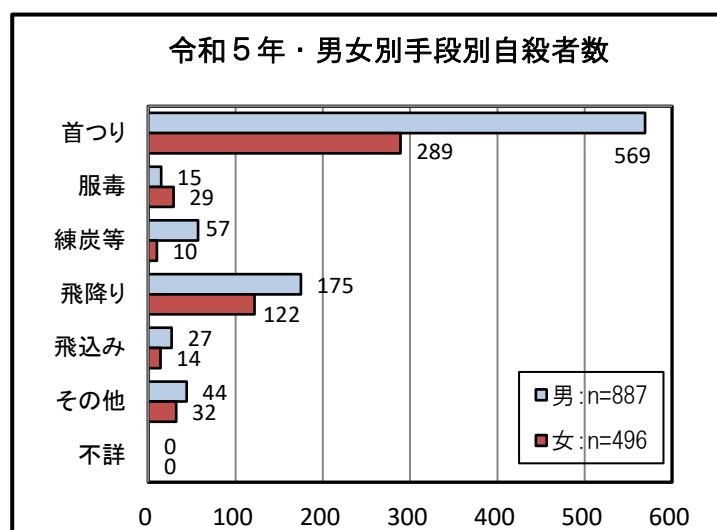
場所別自殺者数では、「自宅等」が964人（69.7%）と約7割を占めています。次いで「高層ビル」が81人（5.9%）となっています。



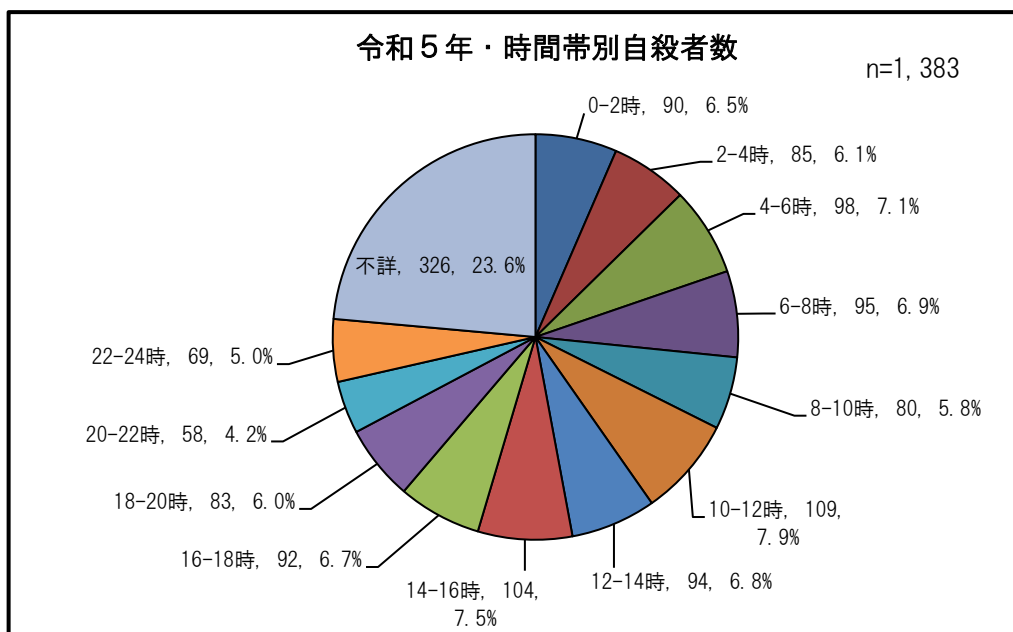
男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで「高層ビル」となっています。「自宅等」が男性566人（63.9%）で、女性398人（80.2%）、「高層ビル」が男性54人（6.1%）で、女性27人（5.4%）です。



手段別自殺者数では「首つり」が858人（62.0%）と6割を占めています。次いで「飛降り」が297人（21.5%）となっています。

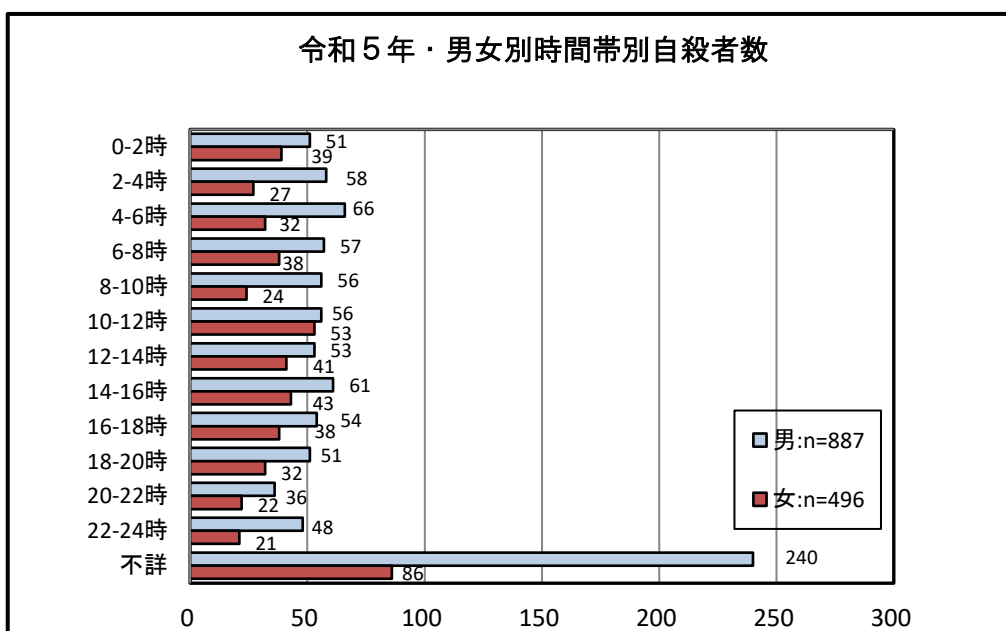


男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。「首つり」は男性569人（64.1%）で、女性289人（58.3%）、「飛降り」は男性175人（19.7%）で、女性122人（24.6%）です。



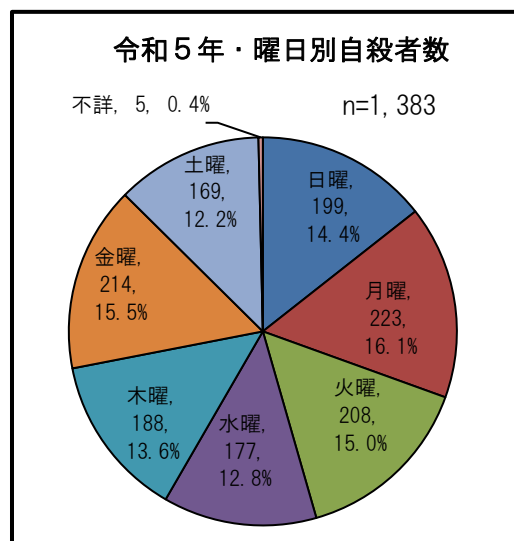
時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「10～12時」の109人（7.9%）、次いで「14時～16時」の104人（7.5%）となっています。

少ない時間帯は「20時～22時」58人（4.2%）となっています。

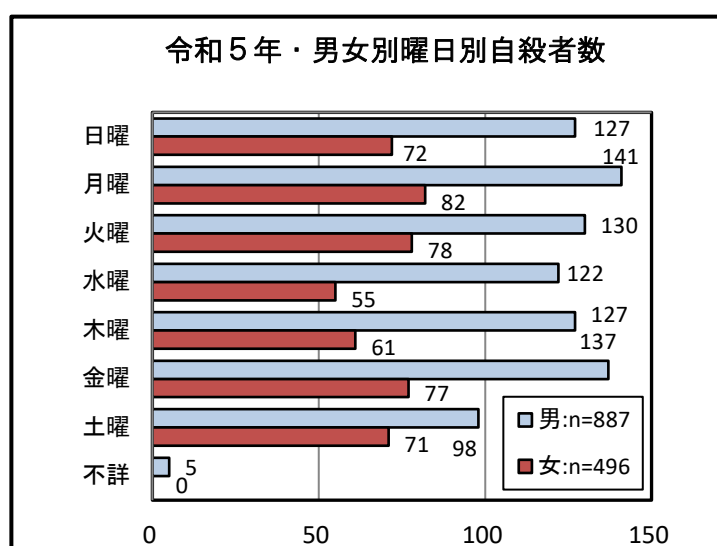


男女別の時間帯別自殺者数については、男性では「4～6時」が66人（7.4%）、女性では「10時～12時」が53人（10.7%）でそれぞれ最も多くなっています。

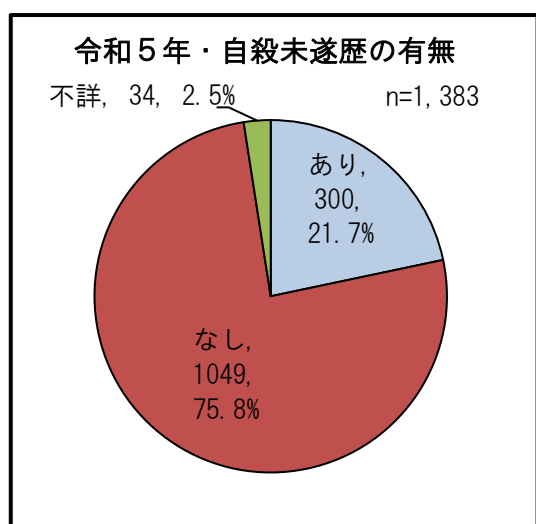
「20時～24時」は男女ともに自殺者数の少ない時間帯となっています。



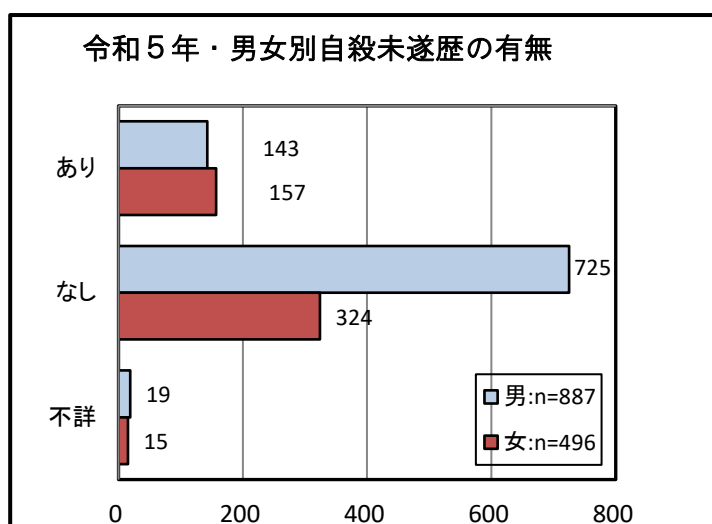
曜日別自殺者数の割合は、「月曜日」の223人（16.1%）が最も多く、「土曜日」の169人（12.2%）が少なくなっています。



男女別の曜日別自殺者数では、男性は「月曜日」の141人（15.9%）が最も多く、「金曜日」の137人（15.4%）が続いています。
女性も「月曜日」の82人（16.5%）が最も多く、「火曜日」の78人（15.7%）が続いています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は300人（21.7%）で全体の5分の1を占めています。「なし」は1,049人（75.8%）となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は143人（16.1%）、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は157人（31.7%）となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性の約2倍多くなっています。